

季刊ジャネット Ja-Net

スリーエーネットワーク

July 2020

No. 94



Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介
京都府 京都市
- 5 みんなの“日本語View from the Other Side”
エドアルド ジェルリーニ(イタリア)
- 6 教材紹介
『はじめて学ぶ介護の日本語 生活知識とコミュニケーション』
『新訂版 トピックによる日本語総合演習』
テーマ探しから発表へ 中級前期
『理系留学生のための 自然科学の日本語』
- 8 インフォメーション



巻頭寄稿

コロナデフォルトに輝け、 日本語教育！

学校法人ABK学館日本語学校の4カ月

—B.C. (Before Corona)時代から
A.C. (After Corona)時代に向けて—

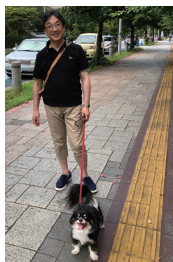
理事・事務長編

学校法人ABK学館 理事・事務長

山田健一

(やまだ けんいち)

公益財団法人アジア学生文化協会に1990年入職。
ABK-AOTS同窓会研修生担当、留学生相談室、アジア文化会館学生寮担当などを経て、2014年から現職。



2020年2月27日、木曜日、夕方6時、それは突然のニュースだった。3月2日の月曜日から、全国の小学校から高校まで一斉に臨時休校をするようにという安倍首相の要請。本校のような日本語学校は、休校要請の対象ではない、と通知があったものの、学生や学生の家族から心配の声が続々と寄せられ、3月3日から臨時休校とした。

しかしながら、東京都からの3月4日付指示では、「貴校の休校の実施

は認めるものの、(臨時休校要請対象外であるため)卒業要件や年間授業時間数等の緩和をすることは、現状認められない。休校期間中の授業をどのように補完するか必ず確認すること。」

そして、補完授業実施にあたっては、「例えば、インターネットなどで授業を実施するところもある。」と、親切にご教示いただいた。「インターネットなどで授業」に経験のない中、慌ただしく、当校のオンライン授業はスタートを切ることになった。

新型コロナウイルス感染症を経験する前のB.C.(Before Corona)時代から、経験した後のA.C.(After Corona)時代には、コロナなどの感染症とともに生きることが、社会の標準(デフォルト)になると言われている。「ソーシャルディスタンス」が合言葉となり、日本語教育もオンライン授業や教職員のテレワークが日常となった。オンライン授業の様子は

次のコラム、教務主任亀山に譲るとして、ここでは「コロナデフォルト」時代となった当校の取り組みについて触れたい。

コロナデフォルト時代の 当校の取り組み

6月5日現在、教員は自宅から授業を配信、職員もテレワークとなった。この新たな状況では、学生の学習状況、健康状態、生活状況などが見えにくくなり、また、教職員間で学生情報の共有がしにくくなった。学生の出欠状況も、各クラス授業が終わった後、教員の報告があるまで分からなくなった。オンラインでの教育方法や教育内容に加え、教員の自宅での授業配信や職員のテレワークを後押ししながら、学生の状況をアップデートで知ること、そして教職員で情報共有をすることなど、突如、未曾有の課題が目の前に現れたのだ。

当校は数年前から、各クラスでiPadを活用して、毎時限の学生出欠状況や成績、教職員による学生指導記録などをサーバーに逐次、記録し、瞬時に教職員のiPadで共有する仕組み（学生情報管理支援システム）を独自に開発、導入してきた。この方法が、そのままテレワーク勤務の際に利用できないか調査したところ、新たなネットワークやシステム(VPN, Virtual Private

Network)を導入することで、解決できることが分かった。この仕組みの導入費用を、4月下旬、東京都私学財団の「私立学校ICT教育環境整備費助成事業」に求めたものの、残念ながら当校のような日本語学校は対象外。新たに情報収集をした結果、東京都の「テレワーク助成金」の申請ができることが分かった。昨年からはちょうど当校で進めていた、教職員の育児・介護等を支援するため、校内に設置したテレワーク就業規程作成準備委員会と合流、同助成金申請を5月11日に行った。このシステムが導入できれば、教職員のテレワークを進めながら、学生情報をスムーズに共有できる可能性が見えてきた。

また当校では、クラウド上で教職員のスケジュール管理、回覧板、業務ワークフロー機能などを持つグループウェアを利用している。このグループウェアの教職員アクセスログを調べると、自宅でテレワークをしている教職員の方が、当方施設内で仕事する教職員より、情報へのアクセス回数が多いことが分かった。つまり、教職員はテレワーク勤務をしていた方が、テレワーク勤務をしていない時より、頻繁に情報交換をしているのだ。

コロナデフォルト時代では、情報共有などに支障があると思われていたが、これらの仕組みを上手に活用する

ことで、働き方改革を進めながら、学生の状況把握を図り、さらに教職員の一層の緊密な情報共有も図ることができる、未来の教育現場が見えてきている。

オンライン教育で新しい マーケットへ

一方、国内の日本語学習者は大幅な落ち込みとなり、全国の日本語教育機関に激震が走っている。しかしながら、コロナデフォルト時代のオンライン等での日本語教育には新しい、広大なマーケットも広がってきている。

当校では、今年4月期に来日できない国外の学生（海外組と呼んでいる）にもオンライン授業を提供しているが、オンラインでの授業について、アンケートを実施したところ面白いことが分かった。国内で当校の同じオンライン授業を受講している学生よりも、海外組の学生の方が、授業への満足度が高いという結果だ。特に「授業が楽しい」という項目には、5点満点中、平均が5点という驚くべきクラスもあった。教員のオンライン授業への努力と指導を褒めるべきことはもちろんだが、海外組という新しいマーケットに向け、今後、オンラインでの日本語教育に新しい可能性が開けてきた。

日本は世界に比べて、テレワークやITを使った教育が遅れているという。コロナ感染症により、これらの課題が、よりいっそう明らかになった。コロナデフォルト時代の今、既存の枠組みでは何かと対象外と扱われがちで、肩身の狭かった日本語教育に、これまでの課題と枠組みを超えて、新しい可能性と未来が見えてきている。

見えてきた 新しい可能性と 未来



教務主任編

ABK 学館日本語学校 教務主任

亀山稔史

(かめやまとしふみ)

日本語教師。

関心分野は「学習者の心身の健康」「日本語教師の学びの場作り」など。



オンライン補講

3月に9日間の休校があり、その分の補講をすることにした。休校のまま春休みに入っており、学生の健康や生活についても注意や情報を伝えたい。そこで、ZOOMを使ったオンライン補講とした。

ZOOMは、一部の講師の間で試してはいたが、使いこなすというレベルではなかった。映像を流す部分とライブで話す部分を組み合わせ、テレビ放送的な体裁にした。

実施したところ、学生たちから「自分たちの事務所の先生や日本語の先生が話しかけてくる」ことへのプラスの反

応が大きかった。既存の面白いコンテンツでも、ただ見せて終わりではなく、オンライン授業ならではの工夫が大切だった。

多くの日本語コンテンツの無料動画(ドラマやアニメ、アイドル、バラエティなども含め)や定額見放題のサービスがある中で、今後私たちが何で日本語に関心を持つ人たちを惹きつけられるのか、わくわくする「宿題」をもらった。

日本語教育の仲間と

ABKではここ数年、日本語教育への還元を意識し、主に経験の浅い日本語教師や、教師を目指している方たちを対象に勉強会を開催している。

3月の勉強会はすべて延期となったが、数回のオンラインミーティング体験会を開き、各回40～70名の参加があった。経験者の話を聞き、操作の感覚をつかんだことが、その後のオンライン授業に活かしているという嬉しいメールが何通も届いている。

また、日本語教師養成の講座を持つ大学との協働も行っている。予定していた授業見学の代わりに、大学生をグループに分け、オンライン授業に受



コロナ禍前の通常授業の様子。ABK学館日本語学校では新たな授業のカタチに前向きに取り組んでいる

け入れている。これまで1人1回の授業への受け入れはよく行っていたが、同じクラスに継続して参加してもらう面白さをさらに追求してみたい。

オンライン授業

4月以降、1日2コマから始め、5月からは1日3コマのオンライン授業をしている。さらに、土曜日に日本語能力試験対策の授業も入れたが、残念ながら7月の試験は中止になった。それでも、学生の学習意欲は高い。教師の技術も上がり、ある面では教室の授業以上の効果を生んでいるのだという声もある。

6月からは分散登校を始め、教室に日替わりの6名、オンラインでその他の14名といった混合型の授業を行っている。どちらかの学生が我慢することのない授業を目指して、教師チームで試行錯誤を重ねている。

「代替」とか「主と従」とかではない授業の方法を創り出していけば、ABKの教室と海外の協定大学をいくつか結んだ多元授業も可能だろう。また、世界中の何百、何千人が一緒に学ぶクラスも考えられる。楽しみがたくさん見えてくる。

B.C.時代に戻ることを願うのではなく、新たな日本語教育の可能性を多くの人と探っていきたい。



気分転換と交流の場として、日本語でのオンライン食事会を企画。3大学の日本語教育を学ぶ学生とABKの学生たちが、それぞれ食事と飲み物を用意して、小グループでの会話を楽しんだ

京都で「ことば」と「こころ」を伝えて70年

公益財団法人 京都日本語教育センター
京都日本語学校 代表理事

西原純子

京都御所の乾門を南に少し歩くと、西に向かって一条通りが伸びる。一条通りは室町通りを越えて西陣に続く。一帯は室町幕府の跡である。歴史と静寂のこの町に、世界のさまざまな国の人たちが集い日本語を学んでいる。京都日本語学校の学生達である。

伝統と外国文化が不思議に融合するこの風景は、古きものと最先端のものがおおらかに共存する京都の街に馴染んで面白い。

京都日本語学校は戦後間もない1950年に、当時の外国人宣教師、外交官に対する日本語教育機関として設立された。東京の長沼スクールに次いで全国で2番目の民間日本語教育機関であったと聞く。その後、学ぶ人たちのニーズは急速に多様化し、大学関係、ビジネス関係、生活者に加え、1980年代後半には国策により多くの進



池坊短期大学で生け花体験。学生たちの表情は真剣そのもの

学予備教育の留学生を迎え入れる。

地域貢献としての日本語教育

1984年財団法人を取得、名称を京都日本語教育センターとし、2011年には公益財団法人を獲得するが、その間活動の趣旨は一貫して「日本語教育を通じた地域貢献」にあった。それは長く京都という地であって、ここに学ぶ外国人とそれを受け入れる市民を繋ぐ役目をしてきた当校にとって、妥当な選択であったと言える。

地域の組織的な連携先としては、地方自治体、府内の複数の大学、企業、文化団体、地域の小学校がある。大学の短期・中期留学生の日本語教育、企業の外国人社員の継続的・組織的日本語研修、文化団体との協働活動、など多彩であり、これらはいずれも長期に及び、30年近くに及ぶプログラムもある。

一方、当校の留学生のカリキュラムに外部の専門家の方々との協働授業がある。実践例として、一部を下記に紹介したい。

- 1) 学習者によるテーマの選択
 - 2) 外部の専門組織、専門家の決定
 - 3) 学習者による事前調査
 - 4) 学習者の訪問。レクチャー、質疑など
 - 5) 事業見学、実践など
 - 6) レポートおよび礼状
 - 7) 講師による評価
- といった流れである。

学習者の日本語能力とコミュニケーションの力が試されるステージである。こうしたプログラムに必要なのは、地域と日本語教育機関の両者に、双方向性のある利益と持続的な良い関係が保たれることである。地域の中の日本語教育の一つの形であろう。

日本語教育としての「京都モデル」実現へ

京都で「ことば」と「こころ」を伝えて70年。

今、外国人の受け入れに国の新しい施策がなされる中、地域における新たな市民生活の構築が必須である。京都は産官学のコンソーシアムが活発であり、当校も日本語教育を通して未来型の「京都モデル」の実現に参加していきたいと考えている。



美しい着物に袖を通し、川勝流師範(前列中央)による日本舞踊を体験する学生たち

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



エドアルド ジェルリーニ

1980年 イタリア、フィレンツェで生まれる。
1999年 フィレンツェ大学入学。『古今和歌集』と出会い、研究者の道へ。
2011年 カフォスカリ・ヴェネツィア大学で博士号を取得。
2011～2014年 東京大学で日本学術振興会の特別研究員として活躍。
2014～2018年 フィレンツェ大学、カフォスカリ・ヴェネツィア大学で日本語、日本文学を教える。
現在、早稲田大学訪問学者として滞在中。
尚、『みんなの日本語初級I, II第2版』イタリア語翻訳担当。同書会話DVDにて英語教師ワット先生として出演。

illustration 内山洋見

日本の古典文学との出会い

「天の原^{あま}ふりさけ見れば春日^{かすが}なる三笠^{みかさ}の山^いに出^でし月^{つき}かも」。百人一首にも収載されているこの和歌は、私にとって「留学生の心」をよく表している歌である。この歌を詠んだ阿倍仲麻呂^{あべのなかまろ} (698-770)は19歳の頃、遣唐留学生として中国へ渡り、唐朝で出世した人物である。大空に浮かぶ月を見て、「その昔、故郷の山で眺めていた同じ月だなあ」と帰国したい心を語るこの歌は、日本留学時代の私の心によく響いて

日本の古典文学を文化遺産として

いた。実を言えば当時、群馬大学での留学期間が終了するところだった私の気持ちは「帰りたくないなあ」と、仲麻呂とは真逆であったが…。これが「古典との出会い」と言えるエピソードの一つかもしれない。

なぜ平安朝文学なのか

仲麻呂は奈良時代の人物だったが、その歌は平安時代の『古今和歌集』に収録された。その「古今集」のイタリア語全訳を成したのは、フィレンツェ大学の鷺山郁子教授であり、私はその教授の授業を受けた何百人の学生の一人である。どんなに素晴らしい文学作品でも、外国語で書かれたものなら、翻訳なしではその作品と接する人の数は限られてしまう。古典文学の場合はなおさらである。学生だった私は、偶然平安朝文学の世界に出会ったと同時に、翻訳の力と重要性を感じた。

ドナルド・キーン先生との出会い

日本の文字になんとか好奇心があっ

て日本語を勉強し始めた私は、その15年後、日本学の第一人者、ドナルド・キーン先生がイタリアを訪問した時、講演の通訳(キーン先生の日本語をイタリア語へ)を頼まれるとは想像もしなかった。キーン先生と出会うまでの15年の間、趣味から勉強へ、勉強から仕事へと、私と日本語との関係は深まり、通訳や翻訳の経験を経て、大学で日本語や日本文化を教えるようになっていた。

キーン先生と出会って改めて気づいたのは、日本人と同じやり方で日本文化を研究するよりも、日本文化に対する外国人としての考え方、研究のやり方を生かした方が、自分のためにも、日本のためにも有意義であるということだ。したがって私は、平安朝文学とイタリア中世文学との比較や、古典文学を文化遺産として捉え直す研究プロジェクトなど、少し変わったテーマでチャレンジし続けてきた。

他文化と外国語を勉強する意味

仲麻呂やキーン先生ほど道を極めた人でなくても、他文化を勉強する意味は、その国の人たちが気づいていない自国の文化の可能性に気づかせることでもあると思う。言語の学習から始まる文化交流は、他文化を知るという目的に留まらず、お互いの生活を豊かにする役目があるだろう。日本語も古典文学も、日本人が独自に所有するものではなく、人類全てを豊かにする、貴重な文化遺産として捉え直せば、更に別の可能性につながるかもしれない。

『はじめて学ぶ介護の日本語 生活知識とコミュニケーション』

三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・鈴木健司 著 B5判 110頁 別冊20頁(予定) 1,500円＋税 9月発行予定

豊富なイラストで初級レベルから楽しく学べる

資格の大原 介護の日本語教師養成講座 講師・明海大学 非常勤講師 三橋麻子 丸山真貴子

本書は、「はじめて学ぶ介護の日本語」シリーズ、「基本のことば」「基本の知識」に続くものとして執筆いたしました。すでに介護の現場で活躍している方、これから現場に出ることを目指している方など、様々な方に手にとっていただき、コミュニケーションに必要な日本文化や表現、それらの運用方法を確認していただきたいと思います。本書が円滑なコミュニケーションをとるための一助になれば幸いです。

な日本の生活知識に加え、介護現場特有の情報や知識が学べるようになっています。イラスト・写真を多用しているので、日本語学習歴の浅い初級レベルの学習者にもわかりやすく、また実際の介護現場でも役に立つでしょう。

「コミュニケーション」のPartは、業務で必要な表現を中心に学べるようになっています。施設側、日本人スタッフから要望の多い「声かけ」「申し送

り」「記録」は特に丁寧に取り上げており、また、外国人学習者からの要望が多い「家族とのコミュニケーション」「介護現場で使うオノマトペ」「敬語」も扱っています。介護現場で実際に必要とされる内容が詰まっていますので、ぜひ本書を参考にさせていただけたらと思います。

それぞれのPartには、項目ごとの練習問題がついています。

特長

- ① 日本語学習歴の浅い初級レベルの学習者にもわかりやすい
- ② 場面に応じた表現例を多く取り上げている
- ③ イラストや写真を多用し、場面や現場のイメージがしやすい
- ④ 音声・カラー版資料がwebから手に入る
- ⑤ シリーズ3冊を通して学ぶと、介護に必要な基礎的な知識や関連する日本語を身につけることができる

2つの学習領域

本書では「生活知識」と「コミュニケーション」の2領域を学習します。

「生活知識」のPartは、利用者(要介護者)との会話、雑談等で必要

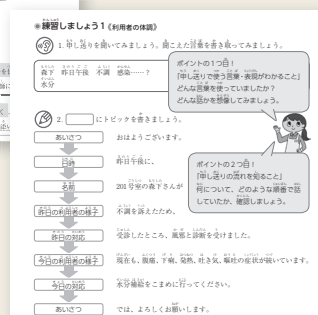
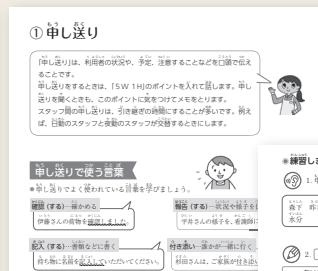
学習内容

Part 1 生活知識

1. あいさつ
2. 日本の地理・気候・有名なもの
3. 日本の四季とイベント
4. 日本の食事
5. 衣服・身のまわりのもの
6. レクリエーション

Part 2 コミュニケーション

1. 介護福祉士の一日
2. 利用者とのコミュニケーション
 - ① 声かけ ② あいづち ③ 質問の方法
3. 職員とのコミュニケーション
 - ① 申し送り ② 記録
4. 家族とのコミュニケーション
5. 現場で使う表現 オノマトペ



『新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』

佐々木薫・赤木浩文・安藤節子・草野宗子・田口典子 編著

B5判 105頁 1,500円+税



調査発表のための日本語運用力を養う

安藤節子 佐々木薫

『トピックによる日本語総合演習』シリーズ(中級前期、中級後期、上級)は、学習者が自分で調べたり考えたりしたことを発信していく力を養成します。今回の「中級前期」の改訂では、グラフなどのデータを中心に更新しました。また、ことばと文法説明の翻訳には英語・中国語・韓国語に加えて、ベトナム語を追加しました。

特長

- ①真正性のある情報をグラフでわかりやすく提示。
- ②[トピックに興味を持つ] → [グラフや文章で情報をインプット] → [アウトプットとして発表する]の3ステップで構成。中級前期から無理なく進められます。

- ③グラフの読み方、アンケート調査の方法、発表に使える表現など、便利な資料を「調査・発表のための手引き」に多数収録。

できるようになること

中級前期では、基礎的な日本語を身につけた人が自分の興味や関心のあるトピック(旅行・いつ、どこで買う?・祭り・贈り物・マスメディア)について、経験や知識を踏まえて、自国の文化・事情と日本のそれを照らし合わせたりしながら内容を深め、広げていきます。その結果を、手紙で伝えることから始めて、口頭で紹介したり、文集にまとめたり、アンケート調査の発表も行えるようになっていきます。

『理系留学生のための 自然科学の日本語』

細井和雄 編著 B5判 105頁 1,600円+税 8月発行予定



日本で理系分野の研究を目指す学習者の方へ

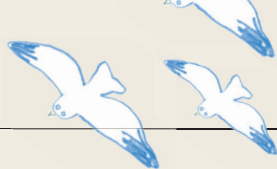
徳島大学名誉教授 細井和雄

日本へ留学して理系分野の研究を目指している学習者は専門分野の学習が始まると用語や表現がこれまで学習してきた日本語と少し違うと感じられることが多くなるかと思えます。専門科目の日本語を読解できる力をつけるためには良い教材を見つけることが大事になります。

本書は日本語能力がN2～N1の学習者を対象に、専門の学習を始める前の段階で自然科学系の日本語の文章にふれ、慣れ親しむことでスムーズに専門の学習へ進むことができるように企画しました。化学、工学、情報科学、医学・生

命科学、宇宙科学の5分野から題材を選び、それぞれの分野の記事を読み解く力をつけられるように編集しました。すべての漢字には読み方(ルビ)を付け、重要語句にはベトナム語、中国語および英語の訳を示しました。各課にもうけた問題では、日本語話者が繁用するやや特殊な日本語表現や構文などを取り上げ、理解を促しながら、記事の内容を深く理解できているかどうかを問うようにしています。

本書は学校の教材や自習用のテキストとしてご利用頂けます。専門の学習を始める前に、あるいは専門の学習と並行して本書をご活用頂き、ぜひ自然科学の日本語を身につけてください。



近刊

新完全マスター語彙 日本語能力試験N4
外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級
理系留学生のための 自然科学の日本語
はじめて学ぶ介護の日本語 生活知識とコミュニケーション

1,200 円 8 月発行予定
2,400 円 8 月発行予定
1,600 円 8 月発行予定
1,500 円 9 月発行予定

セミナー

ABK日本語教育勉強会

「オンライン授業でできること(第3回) 模擬授業から見つける 授業のヒント」

日時：8月29日(土) 9:30-11:30

(11:30-12:30 情報交流会自由参加)

参加方法：Web会議アプリZOOMを使用

参加費：1,000円

詳細・申込み：https://bit.ly/ABK0829

主催：学校法人ABK 学館日本語学校

京都日本語学校 創立70周年記念 第1回 講演会

『冒険家メソッド』～ソーシャルメディア時代のオンライン教育の実践と可能性

講師：村上吉文氏(国際交流基金日本語上級専門家)

日時：10月31日(土) 16:00-18:30

参加費：無料

詳細・申込み：講演はオンライン上で行います。受講方法、注意事項等についてはウェブサイトをご覧ください。

http://www.kjls.or.jp/

主催：公益財団法人京都日本語教育センター 京都日本語学校

お知らせ

ウェブサイト「みんなの日本語倶楽部」がリニューアル！

『みんなの日本語』の特設サイト「みんなの日本語倶楽部」がスリーエーネットワークのウェブマガジン「3A Plus」内でリニューアルしました。

ご利用の皆様によりわかりやすくお使いいただけるよう、数あるコンテンツを整理し、ご覧になりたい情報により早くアクセスできるように、構成を見直しました。

『みんなの日本語』について知りたい方、デジタルコンテンツを利用したい方、先生方の効果的な教え方をご覧になりたい方、最新情報を確認したい方など、目的に合わせ全体的に見やすくいたしました。

リニューアル例

- ・『みんなの日本語』って？(本の内容・基本的な教え方・ラインナップなど)
- ・デジタル教材(教材に関するコンテンツ・おもしろコンテンツ・アプリ/有料コンテンツ)
- ・『みんなの日本語』Q & A
- ・みんなの使い方紹介(先生方の具体的な授業例をご紹介)

「みんなの日本語倶楽部」

https://plus.3anet.co.jp/

「みんなの日本語」シリーズ、日本語能力試験対策教材リーフレットのご案内

教材ラインナップや無料補助コンテンツのご案内、教材を使った授業づくりのコラムを掲載したリーフレットをご用意しています。

- ・『もっと知りたい「みんなの日本語」』…『みんなの日本語 初級』『同 中級』を紹介
- ・『もっと知りたい「新完全マスター」』…「新完全マスター」シリーズなど、日本語能力試験対策教材を紹介

申込み：https://www.3anet.co.jp/apply.html

数に限りがあるため、なくなり次第、発送は終了させていただきます。

「一人で学べるひらがなカタカナ」シリーズ 付属CD 音声公開

音声とイラストを使ったタスクを通して、楽しく文字が学べる人気教材「一人で学べるひらがなカタカナ」シリーズ。『英語版』『中国語版』『ベトナム語版』『タイ語版』『インドネシア語版』の付属CDの音声をウェブサイトにて公開しました。教科書の通りに使っていただけるよう、翻訳をつけ、トラックを細かく分けています。ぜひご活用ください。

https://bit.ly/Hirakata



季刊ジャネット

Ja-Net No. 94

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2020年7月25日発行

● 発行人 藤寄政子
● 発行所 (株)スリーエーネットワーク
Ja-Net 編集室
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4
トラステイ麹町ビル2F
TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729
E-mail: sales@3anet.co.jp
https://www.3anet.co.jp/

● デザイン ベーシック 畑中 猛
● イラスト 須山奈津希(P.1, 8)
● 印刷 (株)ワコー
© 2020 by 3A Corporation
Printed in Japan (禁無断転載)

「Ja-Net」をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2020年10月25日発行予定です。